

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 07-02-02	事務事業名 社会体育団体補助事業	所管部課 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
-------------------	---------------------	------------------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
---------------	---------------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	社会体育（スポーツ）関係団体が市内で行う事業の経費の一部を補助することにより、西東京市における社会体育（スポーツ）の発展を図るため、	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 補助対象事業は、市民のために市民を対象とした講習会、競技会等、スポーツ、レクリエーションの機会を提供する事業、団体の構成員及び市民を対象として行われる特別に企画した実技研修事業等がある。補助金の対象となる経費は報償費、需用費、使用料及び賃借料等、補助対象経費の50%以内としている。	
事業開始時期	13 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		202	199	153	210
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		202	199	153	210
所要人員(B)	人	0.02	0.02	0.02	0.02
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	163	162	162	163
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	365	361	315	373
単位当たりコスト(E)=(D)/(交付団体数)	千円	183	181	158	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 交付団体数	実績値 団体	2	2	2	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 毎年補助金交付説明会に参加している2団体					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 事業実施数	目標値 事業				
	実績値 事業	2	2	2	2
二 参加チーム数	目標値 組				
	実績値 組	58	69	73	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	アンケート等は実施していない。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 多摩北部都市広域行政圏（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）で西東京市以外、実施している自治体はない。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 体育協会、体育指導委員が実施する事業

事業コード 07-02-02	事務事業名 社会体育団体補助事業	所管部課 生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
-------------------	---------------------	------------------------------

施策コード 創3-3	施策名 スポーツ・レクリエーション活動の振興	施策目標 市民がそれぞれの体力や技術などに応じて、スポーツ・レクリエーション活動に親しめる機会・場所づくりをめざします。
---------------	---------------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	1	
	事業主体の 妥当性	2	
B	直接のサービスの 相手方	1	
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	2	
C	市民ニーズの 把握	1	

前回評価で本事業は抜本的見直しとの評価となっており、申請期間延長等の改善対策を行ったが、補助金交付団体は毎年同じ2団体で固定化されており、今後の拡充は難しい状況と考える。
また、スポーツの発展を図る目的としては、体育指導員等が実施する他の類似事業による代替も可能であり、本事業継続による事業効果は低いと想定されるので、他の事業への移行や統合も含め、事業の抜本的見直しが必要と考える。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	1	
	事業主体の 妥当性	1	
B	直接のサービスの 相手方	1	
	事業内容等の 適切さ	1	
	受益者負担の 適切さ	1	
C	市民ニーズの 把握	1	

社会体育団体補助金については、平成17年度以降を見ても団体数の増加はなく、団体及び事業内容は固定化されている。補助金制度のPRを強化してもその状況は変わっていない。指定管理者をはじめ、体育協会、総合型スポーツクラブによる様々な事業が展開されており、本補助金の当初の目的は達成されたと考えられる。他の事業への移行や統合を視野に入れた事業を再構築し、本補助金の廃止に向けた検討を進められたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、補助事業が固定化している実態があり、少数の特定種目への支援となっている。事業執行の効果・効率の観点から、本事業は廃止することが妥当であり、必要であれば他の事業との組み替えも含めて検討されたい。</p>